

第39回 甲北信越矯正歯科学会学術大会プログラム

2024年6月23日（日） 於：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

理事会 7:30～8:30

受付 8:15～15:00

開会式 8:50

開会の辞	第39回甲北信越矯正歯科学会学術大会 事務局長	丹原 惇
大会長挨拶	第39回甲北信越矯正歯科学会学術大会 大会長	福井 忠雄
学会長挨拶	甲北信越矯正歯科学会 会長	寺田 員人

学術口演 9:00～9:40（発表7分、質疑応答3分）

座長：渡邊 直子

Oral-1 当医院で実施しているインフォームドコンセントの紹介
廣 俊明、廣 芽生
長野県

Oral-2 *Streptococcus mutans* に対する Honokiol の抗菌効果
竹本 瑞季¹、椎木 甫²、三上 正人³
¹日本歯科大学新潟生命歯学部咬合形態機能矯正学、
²日本歯科大学新潟生命歯学部歯科矯正学講座、
³日本歯科大学新潟生命歯学部微生物学講座

Oral-3 閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）患者に対する
口腔内装置（OA）の長期使用に伴う形態学的変化とその予測について
吉田 智美¹、竹山 雅規²、網谷 季莉子¹、工藤 武久¹、長谷部 大地³、
小林 正治³、齋藤 功¹
¹新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野、
²新潟県、
³新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野

Oral-4 超弾性ワイヤーの臨床的状況下における復元力
倉科 勇太¹、永澤 栄²、川原 良美¹、影山 徹¹
¹松本歯科大学歯科矯正学講座、
²松本歯科大学歯科理工学講座

シンポジウム 9:50～11:05

『3大学のスケレタルアンカレッジの現状とこれからの展望』

モデレーター：影山 徹

「松本歯科大学におけるスケレタルアンカレッジの現状とこれからの展望」

丸山 歩美、檜本 達也、川原 良美、影山 徹

松本歯科大学歯科矯正学講座

「日本歯科大学新潟病院における歯科矯正用アンカースクリューの使用状況」

吉田 早織

日本歯科大学新潟生命歯学部歯科矯正学講座

「スケレタルアンカレッジの使用状況を踏まえた有用性と課題」

上村 藍太郎

新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野

コ・デンタルプログラム 11:15～12:05

『歯科衛生士卒前教育の現在地』

座長：太田 信

米澤 大輔

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学講座

編集委員会 11:15～12:05

総 会 12:15～12:45

昼 食 12:15～12:45

特別講演 13:20～14:30

『スケレタルアンカレッジによって私の矯正臨床がどう変わったか?』

座長：福井 忠雄

菅原 準二

医療法人 八峯会 矯正歯科 菅原準二クリニック 理事長

日本矯正歯科学会認定医委員会講演 14:40～15:20

『認定医の取得、更新を目指す方、また、その指導者へ

－認定医新規・更新申請、指導医新規・更新申請制度の理解のため』

座長：寺田 員人

倉林 仁美

公益社団法人日本矯正歯科学会・認定医委員会 審査委員

閉 会 式 15:20～15:30

次期大会長挨拶

黒木 大雄

閉会 の 辞 第39回甲北信越矯正歯科学会学術大会 事務局長

丹原 惇

症例展示(一般) 9:00～15:20 (質疑応答 12:55～13:15)

Group A1

座長：小幡 明彦

G-A-1 叢生を伴う Angle Class III subdivision 上顎前突症例

大澤 知朗、高橋 功次朗、大森 裕子、丹原 惇

新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野

G-A-2 上顎左側犬歯の埋伏、過蓋咬合、両側第二大臼歯の鉗状咬合および

叢生を伴う Angle Class II 上顎前突症例

長崎 司、丹原 惇

新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野

G-A-3 右側第二大臼歯鉗状咬合を伴う Angle Class II 上顎前突症例

椎木 甫、太田 信

日本歯科大学新潟生命歯学部歯科矯正学講座

Group A2

座長：丹田 薫

G-A-4 上下顎前歯部唇側傾斜を伴うアングルⅡ級症例

丸山 歩美、川原 良美、影山 徹

松本歯科大学矯正歯科学講座

G-A-5 上顎両側側切歯矮小歯を伴うアングルⅡ級過蓋咬合症例

檜本 達也、川原 良美、影山 徹

松本歯科大学歯科矯正学講座

G-A-6 Tooth size ratioの不調和と上顎中切歯翼状捻転を伴うアングルⅡ級症例

中根 隆、川原 良美、影山 徹

松本歯科大学歯科矯正学講座

症例展示(認定医更新症例) 8:30～15:20

(設置時間 8:30～9:30、審査 9:30～10:40、試問 10:40～12:10、試問終了後第2会場

(中会議室 301)にて15:20まで展示)

Group B

G-B-1 叢生を伴う Angle Ⅱ級 subdivision 症例

嶋本 純也

滋賀県

- G-B-2 叢生を伴う Angle Class II 上顎前突症例
眞館 知弥子
石川県
- G-B-3 前歯部叢生を伴う Angle Class I ハイアングル症例
宮野 英子
長野県
- G-B-4 アンカースクリューを使用した上下前歯部叢生を伴う I 級症例
中村 朋子
東京都
- G-B-5 Angle Class I 叢生症例
石多 克行
島根県
- G-B-6 上下顎前歯唇側傾斜を伴う Angle Class II 過蓋咬合症例
片岡 美季
東京都
- G-B-7 上顎前歯の唇側傾斜を伴う前歯部開咬症例
小池 安紀津
長野県
- G-B-8 叢生を伴う上下顎前突症例
小山 直子
東京都